

草の根文化無償資金協力「カラ・バルタ市サッカー競技場人工芝敷設計画」 人工芝グラウンド引き渡し式

5月17日(水)11時、カラ・バルタ市スポーツ複合施設「マナス」サッカー競技場において、人工芝グラウンドの引き渡し式を開催しました(供与額88,613米ドル)。日本政府は、草の根文化無償資金協力「カラ・バルタ市サッカー競技場人工芝敷設計画」の枠組みで人工芝敷設しました。合田秀樹駐キルギス共和国日本国特命全権大使の他、リスクルベク・カラ・バルタ副市長、ジュイシェナリエフ・カラ・バルタ市議会議長、トゥルクバエフ・ジェイイル地区長、スィディコフ・キルギスサッカー協会会長及びコジョンタエフ・スポーツ複合施設「マナス」代表が出席しました。

今回の人工芝敷設がキルギスにおけるサッカーの更なる普及に貢献することを期待しています。この人工芝サッカー競技場が日本とキルギス両国民間の友好の象徴の一つとなり、今後日本とキルギスの間で文化・スポーツの分野における交流が拡大し、二国間の友好親善関係が深まることを願っています。

